



2026年1月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年9月10日

上場会社名 株式会社 ユークス

コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部 本部長 (氏名) 吉原 謙太

半期報告書提出予定日 2025年9月12日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

上場取引所 東

TEL 072-224-5155

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年2月1日～2025年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期中間期	1,800	11.1	51	43.0	49	12.3	34	62.7
2025年1月期中間期	1,621	20.2	35	78.3	56	76.4	21	88.0

(注) 包括利益 2026年1月期中間期 41百万円 (61.0%) 2025年1月期中間期 25百万円 (85.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期中間期	4.11	—
2025年1月期中間期	2.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期中間期	3,069	2,477	78.2
2025年1月期	3,143	2,516	77.7

(参考) 自己資本 2026年1月期中間期 2,399百万円 2025年1月期 2,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年1月期	—	0.00			
2026年1月期(予想)			—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 1月期の連結業績予想(2025年 2月 1日～2026年 1月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	16.7	350	298.4	338	106.2	332	67.3	39.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2.中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年1月期中間期	11,096,000 株	2025年1月期	11,096,000 株
-------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年1月期中間期	2,677,480 株	2025年1月期	2,677,480 株
-------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(中間期)

2026年1月期中間期	8,418,520 株	2025年1月期中間期	8,403,520 株
-------------	-------------	-------------	-------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、既存事業の開発強化および新規事業を推進するために、2024年10月に組織変更を行い、「ONE YUKE'S」を掲げ全社一丸となった体制強化を進めております。この組織変更は、今後の企業成長に向けた次なる飛躍を見据えた基盤整備であり、その背景には「挑戦」と「面白いものを作る」姿勢の原点回帰があります。その実現に向けて、当社は「安定した収益構造を持つ組織の実現」を最重要方針として掲げるとともに、「選ばれる理由がある受託開発会社」、「自社タイトル開発への挑戦」および「受託事業の拡大や自社タイトル・新規事業等の挑戦により更なる収益の獲得」を目指し、ユークスブランドと安定事業の確立および未来への投資を実現・推進していきます。

当社グループの受託開発事業では、事業開発本部を中心に営業活動を積極的に展開した結果、受注状況は回復基調にあります。

ゲーム分野においては、当社が開発を担当する「ゼンシンマシナール」（発売元：株式会社ディースリー・パブリッシャー）につきまして、引き続き開発が進んでおり、2025年7月1日に公式サイトおよびティザー映像が公開されました。また、アークシステムワークス株式会社が2025年10月23日に発売予定の「ダブルドラゴン リヴァイヴ」の開発にも参画しました。

XR分野においては、リアルタイムライブの制作・配信に参加し、モーションキャプチャー収録、CGモデル・アニメーション制作を担当しました。引き続き、株式会社バンダイナムコエクスペリエンスが展開するオリジナルIPプロジェクト「ポラポリポスポ」の制作にも参画しています。

遊技機分野においては、外注費が増加したものの、昨年度に発生した課題に伴う開発遅延を解消しました。さらに、プロジェクトマネージャーの育成や開発ラインの拡充、技術力向上・成果物の高品質化に向けた社内教育を推進した結果、開発効率が向上し、収益性は改善基調にあります。

その他分野においては、モバイルコンテンツのプロジェクト開発も進んでおります。

パブリッシング事業では、将来のパブリッシングタイトル創出に向け、製作委員会を通じた戦略投資を第2四半期において新たに1件実行し、当該投資の実行件数は合計2件となりました。その他、パブリッシング機能獲得に向けて、様々な取り組みをしております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は1,800百万円（前年同期比11.1%増）、経常利益は49百万円（前年同期比12.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は34百万円（前年同期比62.7%増）となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して74百万円減少し3,069百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少122百万円、売掛金及び契約資産の増加28百万円、投資その他の資産の増加54百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して34百万円減少し592百万円となりました。主な要因としては、契約負債の減少23百万円、賞与引当金の減少13百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して39百万円減少し2,477百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する中間純利益34百万円、剰余金の配当84百万円によるものであります。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては22百万円の資金を獲得（前年同期は583百万円の資金の獲得）、投資活動においては58百万円の資金を使用（前年同期は6百万円の資金の使用）、財務活動においては83百万円の資金を使用（前年同期は383百万円の資金の使用）いたしました。

以上の結果、現金及び同等物は、前連結会計年度末より122百万円減少し、1,567百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年1月期決算短信（2025年3月12日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,690,278	1,567,887
売掛金及び契約資産	780,197	808,489
有価証券	198,554	199,518
仕掛品	56,850	38,569
前払費用	30,885	45,186
その他	43,060	12,910
貸倒引当金	△268	△225
流動資産合計	2,799,559	2,672,337
固定資産		
有形固定資産	43,544	42,837
無形固定資産	6,772	6,132
投資その他の資産		
投資有価証券	119,709	130,358
その他	275,807	319,700
貸倒引当金	△102,052	△102,052
投資その他の資産合計	293,465	348,006
固定資産合計	343,783	396,977
資産合計	3,143,342	3,069,315
負債の部		
流動負債		
未払金	264,896	271,563
未払法人税等	10,837	16,031
契約負債	23,606	-
賞与引当金	97,076	83,402
受注損失引当金	210	-
その他	100,227	89,854
流動負債合計	496,854	460,852
固定負債		
長期末払金	200	200
退職給付に係る負債	129,284	131,082
その他	250	-
固定負債合計	129,734	131,282
負債合計	626,589	592,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	511,590	511,590
利益剰余金	2,552,001	2,502,409
自己株式	△1,054,323	△1,054,323
株主資本合計	2,422,170	2,372,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,634	26,674
その他の包括利益累計額合計	19,634	26,674
新株予約権	74,947	77,925
純資産合計	2,516,753	2,477,179
負債純資産合計	3,143,342	3,069,315

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
売上高	1,621,627	1,800,963
売上原価	1,216,977	1,353,329
売上総利益	404,649	447,633
販売費及び一般管理費	368,900	396,526
営業利益	35,749	51,107
営業外収益		
受取利息	3,394	4,580
受取配当金	1,796	1,090
為替差益	15,878	-
その他	5,544	684
営業外収益合計	26,614	6,355
営業外費用		
支払利息	146	577
為替差損	-	1,591
コミットメントフィー	5,950	5,950
営業外費用合計	6,096	8,118
経常利益	56,267	49,343
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,350
特別利益合計	-	1,350
税金等調整前中間純利益	56,267	50,693
法人税等	35,005	16,099
中間純利益	21,261	34,593
親会社株主に帰属する中間純利益	21,261	34,593

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
中間純利益	21,261	34,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,603	7,039
その他の包括利益合計	4,603	7,039
中間包括利益	25,865	41,633
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	25,865	41,633
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	56,267	50,693
減価償却費	4,156	6,775
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,958	1,798
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,040	△13,673
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△43
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,290	△210
株式報酬費用	37,778	6,551
受取利息及び受取配当金	△5,190	△5,670
支払利息	146	577
為替差損益(△は益)	△3,326	2,453
新株予約権戻入益	-	△1,350
売上債権の増減額(△は増加)	354,847	△28,291
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,911	18,280
未払金の増減額(△は減少)	△3,585	11,678
契約負債の増減額(△は減少)	48,205	△23,606
その他	36,771	853
小計	509,354	26,815
利息及び配当金の受取額	4,230	4,700
利息の支払額	△146	△577
コミットメントライン関連費用の支払額	△5,950	△5,950
保険金の受取額	43,742	-
法人税等の支払額	△5,283	△11,044
法人税等の還付額	37,725	8,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	583,673	22,657
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,776	△11,439
無形固定資産の取得による支出	△968	-
出資金の払込による支出	-	△44,500
差入保証金の差入による支出	-	△3,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,744	△58,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△83,332	△83,653
短期借入金の増減額(△は減少)	△300,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383,332	△83,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,326	△2,453
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	196,922	△122,390
現金及び現金同等物の期首残高	1,183,933	1,690,278
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,380,856	1,567,887

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)および当中間連結会計期間(自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。